

環境調査結果のお知らせ

平成28年2月25日午前11時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温15～16℃、塩分31～33、溶存酸素量7～9mg/lでした。
透明度は6～7mで、有害種のコクロディニウム・ポリクリコイデスが多数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温14.5～16.0℃、塩分31.0～32.8、溶存酸素量7.4～8.8mg/lでした。
前回調査時(H28.2.19)と比較して、水温は全層で0.6～1.0℃下降しました。塩分も全層で0.1～0.3下降しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.4～8.8mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は2m層と5m層で0.1mg/l減少し、表層と10m層、底層で0.1～0.3mg/l増加しました。

プランクトン(表4・5)

透明度は5.6～7.2mでした。
検鏡の結果、魚類に非常に有害なコクロディニウム・ポリクリコイデスが最高で2,580cells/ml確認されました。
コクロディニウムは漁業被害が想定される細胞密度を上回っておりますので、今回確認されなかった養殖漁場においても慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

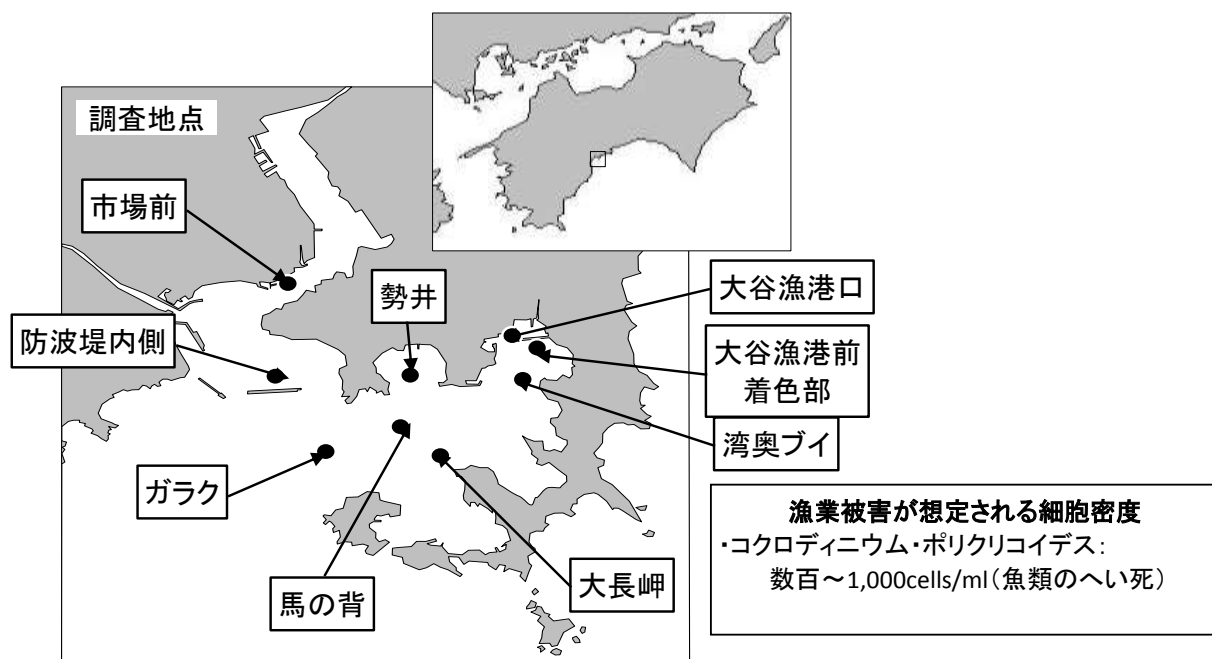


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	15.6	15.4	15.8	14.5	15.6	16.2	▲ 0.6	15.3
2m	15.6	15.4	15.8	14.8	15.6	16.2	▲ 0.6	15.7
5m	15.6	15.3	15.7	16.0	15.5	16.2	▲ 0.7	16.0
10m	15.5	15.3	15.7	16.0	15.5	16.3	▲ 0.8	16.0
B-1m	15.1	15.3	15.9	16.0	15.5	16.5	▲ 1.0	16.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.8	32.7	32.7	31.0	32.7	32.8	▲ 0.1	31.0
2m	32.8	32.7	32.8	31.5	32.7	32.9	▲ 0.2	31.6
5m	32.8	32.6	32.8	32.8	32.7	32.9	▲ 0.2	32.7
10m	32.7	32.6	32.8	32.8	32.7	32.9	▲ 0.2	32.8
B-1m	32.7	32.7	32.8	32.8	32.7	33.0	▲ 0.3	32.8

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	漁場平均※	前回調査(H28.2.19)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	7.9	7.9	8.3	8.8	8.0	7.9	0.1	9.1
2m	7.7	7.8	7.5	8.7	7.7	7.8	▲ 0.1	8.6
5m	7.8	7.6	7.5	8.4	7.6	7.7	▲ 0.1	8.2
10m	7.8	7.5	7.5	8.0	7.6	7.5	0.1	7.9
B-1m	7.8	7.4	7.5	7.8	7.6	7.3	0.3	7.9

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.7	23.0	14.8	14.0	13.9
透明度	5.6	5.9	7.2	5.6	4.1
前回(2/19)	5.7	7.0	7.0	6.8	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		コクロディニウム・ポリクリコイデス	アカシオ・サンガイネア	珪藻類
湾奥ブイ	0m	25	0	50
	2m	0	0	50
	5m	220	0	220
馬の背	0m	0	0	0
	2m	2	0	400
	5m	40	0	170
ガラク	0m	2	0	420
	2m	0	0	350
	5m	0	0	20
津波防波堤内側	0m	0	0	20
	2m	0	0	50
	5m	60	0	70
市場前	0m	12	0	20
	2m	6	0	50
	5m	122	1	120
大長岬	0m	0	0	
	2m	0	0	
	5m	0	0	
勢井	0m	0	0	
	2m	0	0	
	5m	99	0	
大谷漁港口	0m	1,770	0	
大谷漁港前着色部	0m	2,580	0	